



R コマンド

この章では、R で始まる Cisco NX-OS インターフェイス コマンドについて説明します。

rate-limit cpu direction

インターフェイスの Packet Per Second (PPS) のレート制限を設定するには、**rate-limit cpu direction** コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

rate-limit cpu direction {both | input | output} pps pps_value action log

no rate-limit cpu direction {both | input | output} pps pps_value action log

構文の説明

both	入力および出力の最大パケット レートを設定します。
input	最大入力パケット レートを設定します。
output	最大出力パケット レートを設定します。
pps pps_value	パケット/秒を指定します。有効な範囲は 0 ~ 100,000 です。
action	アクションを記録することを指定します。
log	指定されたレート制限値以上の PPS 値になると、syslog メッセージを書き込みます。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、インターフェイスの最大入力パケット レートを 3 に設定し、syslog メッセージのロギングをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/5
switch(config-if)# rate-limit cpu direction input pps 3 action log
switch(config-if)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config	実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。
remote ip address	リモート マシンの IPv4 アドレスを設定します。
remote port	リモート マシンの TCP ポートを設定します。
remote vrf	リモート マシンの仮想ルーティングおよび転送 (VRF) のインスタンスを設定します。
show svx connections	SVS 接続の情報を表示します。
svx connection	SVS 接続をイネーブルにします。